

行動と心の交差点
応用行動分析と認知行動療法で描く『これからの福祉と教育』



8月22日(土)
15:30-17:00



著作者:freepik

本講座では3年間、障害の歴史やライフサイクルの全体像を大きな地図を広げるよう俯瞰してきました。昨年度は400名超の申込をいただき、地域の関心の高さを実感しています。

今年は、大学教員の傍ら実践家として歩んできた私自身の視点を投影し、地図の上で生きる方々の「心と行動」に一步踏み込みます。

エビデンスと現場のリアリティを融合させ、ABAやCBTの知見から福祉・教育の光と影を紐解きます。理論を日常の支えに変える「きっかけ(随伴性)」を共に探してみませんか。

平 雅夫 先生

星槎大学共生科学部教授。筑波大学大学院にて行動理論・認知理論等、発達障害児者の心理を学ぶ。

卒業後、教員として学級担任・進路指導主任を歴任後、福祉分野に転身し、障害者就労支援センター長等として実践活動に取り組んできた。



オンラインzoom・無料

申込期間：8月21日(金)まで

対 象：どなたでも参加可能(中高生も歓迎)

申込方法：二次元コードまたは星槎大学HPからお申込みください。



[二次元コード]



▼お問い合わせ

〒227-8522 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘8-80

✉ seisakyusyu@seisa.ac.jp

星槎大学
横浜事務局



[星槎大学HP]